

# THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

## The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1<sup>st</sup> January and 6<sup>th</sup> October 2013)

World's Best Racehorses Rankings			
Leading Horses			
<a href="#">click here for complete rankings</a>			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	BLACK CAVIAR (AUS)	130	AUS
1	TREVE (FR)	130	FR
3	WISE DAN (USA)	129	USA
4	NOVELLIST (IRE)	128	GER
5	GAME ON DUDE (USA)	126	USA
5	TORONADO (IRE)	126	GB
7	ANIMAL KINGDOM (USA)	125	USA
7	DAWN APPROACH (IRE)	125	IRE
7	FORT LARNED (USA)	125	USA
7	ORFEVRE (JPN)	125	JPN

無敗の仏調教 3 歳牝馬トレヴ【130】が、凱旋門賞(G1)を圧勝し、オーストラリアの伝説的牝馬ブラックキャビア【130】と並んで、最新版ロンジンワールドベストレースホースランキングでトップに立った。

同馬はデビュー5 戦目であったにもかかわらず、枠順の不利を克服し、昨年のこの競走 2 着のオルフェーヴル【125】や仏ダービー馬アンテロ【124】、さらに日本ダービー馬キズナ【121】を降した。傑出した能力の持ち主である同馬は来年も現役続行の予定である。

凱旋門賞のロンシャン開催からは他にも特筆すべきパフォーマンスが見られた。

ムーンライトクラウド【123】は、爆発的な末脚を繰り出しフォレ賞(G1)を快勝、今年の無敗記録を継続するとともに、自己最高となるレーティングを得た。

また、その前日に行われたドラール賞(G2)では、仏調教 7 歳・馬シリユスデゼーグル【123】が今回も楽勝し、ここ 4 年で同競走の 3 勝目となる勝利を飾るとともに、未だ衰えず昨年に近い能力を維持していることを示した。

一方、北米では、ブリーダーズカップを目指す組が最終決戦に備えるべく始動している。その中でも最も特筆すべきパフォーマンスを見せたのはブリーダーズカップクラシックを目指す 2 頭だ。ムーチョマッチョマン【123】はオーサムアゲイン

S(G1)で鮮やかな勝ち振りを見せ、昨年 2 着だった本番に向けて順調ぶりをアピールした。また、**ロンザグリーク【122】**はジョッキークラブゴールドカップ(G1)を強敵相手に圧勝し、これまでに最も高いレーティングを得た。